

第2回桜川市新庁舎建設検討委員会会議録

【1】日 時：平成29年11月21日（火） 午後2時～午後4時24分

【2】場 所：桜川市役所 大和庁舎 3階大会議室

- 【3】会議次第：1 開 会
 2 委員長あいさつ
 3 報 告
 （1）第1回検討委員会の審議結果
 4 議 事
 （1）支所について
 （2）新庁舎について
 5 そ の 他
 6 閉 会

【4】出席者

（1）委 員

No.	職 名	氏 名
1	常磐大学 総合政策学部 法律行政学科 准教授	吉田 勉
2	桜川市議会副議長	風野 和視
3	桜川市議会総務常任委員会 委員長	市村 香
4	桜川市議会文教厚生常任委員会 委員長	鈴木 裕一
5	桜川市議会建設経済常任委員会 委員長	飯島 重男
6	桜川市区長会連合会 会長	大関 隆司
7	桜川市区長会連合会 副会長	入江 利雄
8	桜川市区長会連合会 副会長	小河原 勲
9	桜川市教育委員会 委員長	秋山 敏男
10	桜川市商工会 会長	皆川 光吉
11	桜川市観光協会 会長	橋本 慶晴
12	桜川市消防団 団長	羽野島 幸雄
13	桜川市社会福祉協議会 事務局長	安達 徹
14	北つくば農業協同組合 女性部会長	千勝 真知子
15	桜川市PTA連絡協議会 会長	重村 秀一
16	桜川市PTA連絡協議会 女性ネットワーク委員会 委員長	渡邊 牧
17	桜川市交通安全母の会 会長	小川 よし子

18	桜川市高齢者連合会 会長	櫻井 昇
19	副市長	井上 高雄
20	市長公室長	小川 豊
21	総務部長	阿久津 裕治

【5】欠席者

(1) 委員

No.	職 名	氏 名
1	桜川市議会 議長	高田 重雄
2	桜川市農業委員会 会長	稲葉 則夫
3	桜川市商工会 女性部会長	仁平 千鶴子

【6】事務局

No.	職 名	氏 名
1	桜川市市長公室企画課 企画課長	柴 保之
2	企画グループ長	秋山 健一
3	主幹	鶴見 健太郎
4	主事	枝川 周平

【7】会議録署名委員

入江利雄委員、羽野島幸雄委員

【8】会議の経過

1 開 会：午後2時00分

2 委員長あいさつ：吉田勉委員長

3 報 告

(1) 第1回検討委員会の審議結果

○新庁舎建設で合併特例債の後年度負担、合計で約11億円あるが、余裕あるうちに前倒しで返すことは出来ないのか。

- ・おそらく繰上げ償還は可能である。ただし、交付税の算入はないと思う。計画に基づいて3年据置の30年償還での交付税の措置なので、繰上げてたくさん返したからといって、返しただけ交付税がもらえるかということは、難しいと思う。

4 議 事

(1) 支所について

【支所を置くことに関する意見】

○岩瀬庁舎、大和庁舎、真壁庁舎の各庁舎間の直線距離が5キロないし4キロのところ、類似の状況にある自治体と比較すると一番近く、コンパクトだという意味で物理的に支所が必要だということが弱い印象がある。

- ・高齢化社会が進むという中では、少しでも近いところにいろいろな便利なところがあったほうが良い。他と比べてどうかということより、そういうことを優先した方がいい。
- ・庁舎ごとの直線距離からすれば、4.2キロとか5.4キロとかだが、地域ごとに考えれば、例えば、朽木寄りに住んでいる人からすれば、大和庁舎まで行くとなれば、岩瀬の庁舎を越えて大和庁舎までの距離がどれだけあるかを考えると、岩瀬庁舎まで行くのと、大和庁舎まで行くのとでは、倍くらい違う。こういうことを考えれば、やはり、窓口は業務内容を縮小してでも基本的な業務ができる窓口は必要と思う。
- ・県境の方に住んでいる人とか、真壁の南の方の人からすればかなり遠い訳だし、そういうことから考えれば、やはり、上と下に窓口があったほうが良い。
- ・県道が通っている岩瀬から真壁は平といえば平だが、今泉とか山の向こう側もあるので、一概に利便性を単純には考えられない。
- ・それと、窓口業務は各地区で必ず必要だ。月何回か、年に何回か行くような、住民票とかそういうものに関しての窓口業務は必ず残しておくべきだ。

○機能面から、支所を残すという方向性を前回に見いだしたところから、変更、あるいは少し考え直すという意見はないか。

軽易なもののために支所を未来永劫残しとくのかという事を、議論しておかないといけないと思う。

- ・新庁舎を造るということは、経費の削減、人件費の無駄を省くという事が書かれているが、ただそれだけではない。
- ・桜川市の人口構成を見ると65歳以上が31%以上いる。だから、高齢者の市民サービスという面から考えていただきたい。
- ・介護保険の手続きとかは、常に近くに支所がないと、相談しなければならないときに、遠くにあると時間がないときは後でいいやとなることもあるから、病院で「これやってきて下さい」とか言われたときに、すぐいけるよう近くにあったほうが良い。

○身近な支所があった方が、これこういう点であった方が良いというようなことが確定できればいい。こういう点で良いという点があるか。

- ・歩いて行ける。自転車で行ける。
- ・車を使わなくても自転車で行けるが、一つの理由です。
- ・遠くなると、だんだんに行かなくなってしまう。支所が高齢者のためだけでなく、一般市民のためにも考えていかななくてはならない。
- ・支所がなくなると行政との関りがなくなってしまう。

- ・地域のシンボルだ、支所がなくなると精神的に不安だ。
- ・自動車の運転もできない、いわゆる交通弱者の皆さんも利用できる。

【支所の機能に関する意見】

○支所の機能についての論点は、軽易な事だけなのか、相談業務なのか、あるいは公民館などを併設するのか、あるいはコンビニ交付の関係でどうなるのか。他の市と比べてどうなるのか。いろいろあると思う。

支所の機能について、どういったものが必要か意見を頂きたい。

- ・公民館機能の外に、防災機能と災害で万が一の時に避難できる機能。
- ・特に岩瀬庁舎は新築でなくて改装になる、3階建てになっているが、窓口機能だけならば1階の一部分で間に合うので、残りの部分を有効に利用する。災害で万が一の時に避難してもしばらく居られる訳だからそういうことを含めていけば良い。
- ・庁舎間が4キロ、5キロぐらいだけでも、総合的な相談は本庁舎で、簡単な証明とかの事務的なことの窓口は支所で良い。
- ・本庁舎方式にして、支所は簡単なことにして、全部やると本庁でも支所でもなくなってしまう。
- ・これからの高齢社会を考えると身近なサービスは必要だけど、支所に一人だけ置いたとしたら1千万円はかかると思う。
- ・どうしても難しい相談業務とかで、高齢者とかで行けないとなると、その時だけ本庁から窓口まで来てもらうこともあり得る。
- ・保育所の入所の手続きとか、児童放課後クラブ手続きとか、その時期的にしか使わないことがある。その時だけ本庁から出張してきていただく。この期間のうちにやって下さいという事があるときに、支所のほうに来て頂いて常設はしない。
- ・支所の窓口は何でも相談できるスペシャリストか、課長クラスの人を配置しておく、あっちこっち行かなくて済む。
- ・役所に勤めて20年くらいのベテランの人を張り付けると、窓口で書類を預かったりするだけでなく。
- ・支所の機能や、職員の人数は一概に決めるのは難しい。
- ・地域の実情を考えて支所の機能を考えてほしい。
- ・支所には、常にあった方がいいものと、臨時的にできるものと分けた方が、若干でも人数は抑えられると思う。
- ・桜川市で、いま定年退職した人をまた2年3年と行政相談でまた使っているから、そういう人を総合窓口で配置すれば、経験しているのだから何を相談してもできるのではないか。
- ・スペシャリストという何でもわかる人がいるといいのですが、だいたい定年前後の方でどうかという意見も出ていますが、経験上どの課にも居たという人ばかりではないので大変だと思う。スペシャリストという人はなかなかいない。

- ・本庁方式にするという事で、業務は出来るだけ本庁舎ですることにして、支所はサービスの部分ですとした方がいい

【支所の業務に関する意見】

○支所の在り方でいくつかのパターンに分かれると思います。全部やるのか、一部の証明だけやるのか、パターンを説明いただけるか。

- ・まず、住民票とか年に1・2回位いかなければならないものとか、サラリーマンなんかは納税証明なんかを毎年1回職場に出さなければならぬとかもあるので、年に数回役所に行くというような第1段階のもの。

第2段階というものは、何年かに1回行かなければならない、たとえば国保の届とか高齢者医療とかそういうもの。

そして、一生のうちでも何回しかないというような、たとえば、転入転出とか、保育所の入所とか子供一人につき1回とかの頻度のもの。

この3つぐらいで分けて、どこまでが身近で行うべきか、一生で1回ぐらいなら本庁まで出向いてもしかたないとか、ステージ分けをすることになると思う。

- ・支所で窓口業務をやるとなると、全部の業務をやるのか、多い業務だけをやるのか。全部をやるとなると、相当場所と人数を用意しなければならない。その辺も詰めていかなければならない。
- ・半年間の結果を見てわかるが、ある程度簡単で件数の多い住民票とかの一般の人が多くくるものから始めて、それからだんだんと増やしていった方がいい。
- ・福祉関係だとかは、そこに専門の人を置くっていうのは大変ですから、件数が少ないものとか時期的なものとかは本庁の対応で、支所に余裕があるときに回す。
- ・まずは簡単なところから、やっていったほうがいい

○支所で一発解決するために、それだけの職員を置かなければならないか。一発解決はできないけれど、書類の書き方や書類の取次ぎという事を行い、事前に情報をもらっておいて後で、あとで、本庁で対応するなり、本庁の職員が出向くなりする。

皆さんに、支所で一発解決まで求めるかというところを伺っておきたい。

- ・住民票の交付とかそういう簡易なものは、窓口でその都度、一回で交付されるもの。
- ・介護保険の手続きとか障害者の手続きとか、保育所の入所手続きとかは、窓口で書類を預かって本庁へ回して審査して入れるかどうか確定する。
- ・支所の窓口で書類を提出すると本庁へ回してから処理されて、郵送とかで通知が来たりします。これを一発ということ。それと、書類を受けとりに行くことが、2回とか2発ということ。

【支所の職員数に関する意見】

○支所は資料1-1の稲敷市のような10人以下の一桁のところ支所としていいのか。筑

西や笠間のように 20 人から 30 人の規模になるのか。

- ・支所は、2-2 のなかで、大和庁舎窓口課は 6 人で 5,697 件処理できるのだから、10 人以下位の形で支所はやった方がいい。
- ・10 人前後いけば十分。パスポートなんかは本庁で行えばいい。
- ・パーセントでいうと、筑西市ですと関城支所が 20 名で 2.6%、明野支所が 20 名で 2.6% であり、桜川市では岩瀬庁舎が 5 人で 1.4%なので、たとえば、2%くらいになれば 7,8 名で同じくらいなの規模になるので、10 人位いけば、筑西市とか笠間市とかと同じような手続きができるのではないかと思う。
- ・職員規模を考えると、比率からしても、その辺が相場かなと、同じくらいの事が出来てしかるべきだろうという感じはします。
- ・どうして、1 つの庁舎にするかという事。手続きとかそんなのことより、住民票の交付とか簡単な証明だけにして人数を減らす。
- ・私の観点からすると支所は 10 人いかないか 10 人位まで。それで、役所にたくさんお客さんが来て並ぶことがあっても当然です。その日に完結にならなくても窓口でとりついでもらい、たとえば次の日に終わる。そういうことで、先になるものは財政的な問題です。
- ・仕事の中身もありますのでなかなかむずかしいですが、他の自治体と比較するとイメージがわかりやすいのかなと思います。10 人でも多いという意見があります。
- ・私は、10 人以内で良いと思います。

○10 人前後という感じですかね、ここで人数を決めるわけではないですが、そのくらいのイメージという事でいいですか。

- ・委員等：いいです。いいです。の声

○やる仕事と人数はリンクしていると思うが、人数で分けることが出来るか。

- ・税証明の発行とか住民票の発行だけだと、人数は 1 桁でいけるのではないのかと思う。
- ・それに、国民健康保険とかの書類の確認や相談業務までとなると、窓口業務とは別に人を張り付けなければならないということで、人数は倍くらいになる。
- ・もうちょっと、他の自治体との連絡調整も入ってくるとなると、笠間市とかぐらいの人数になってくると思う。

【支所の整備に関する意見】

○確認ですが、仮に支所にするとした場合、そのまま使用できるものと出来ないものがあるわけですが。資料 2 の 1 の (1) ですが、この中の意味は、仮に本庁舎を大和庁舎にした場合、岩瀬は第 2 庁舎をそのまま使えばいいという意味ですか。それとも、大和を支所にした場合、新庁舎をそのまま支所に使えばいいという事ですか。いずれにしても、真壁は支所に使った場合、他の自治体の例を見ると数億円規模の整備が必要になるという事ですか。

- ・そうです。
- ・岩瀬庁舎でいえば、第1庁舎はだめ。第2庁舎はオーケーだから、岩瀬に窓口を造るなら、裏庁舎だけ残して、そして裏庁舎に窓口業務を持って行く。それだけだとあの建物はずいぶん余るから、そこに公民館機能を持って行く。
- ・岩瀬の中央公民館も地震で、非常に問題で、ダメで近々壊さなければならないという話も出ているので、中央公民館の公民館機能は、市役所の裏庁舎に持って行き、今の中央公民館のところには図書館の大きいのを造る。そういうことを、岩瀬に関しては希望したい。
- ・公民館機能とか支所機能をくっつけて充実化させる。

【コンビニ交付に関すること】

○資料にコンビニ交付利用とありますが、他のところではやっているのですか。どんなものを交付しているのですか。

- ・コンビニ交付は、近隣の市（県内28市町村）は大体やっています。
- ・発行しているのは、住民票、印鑑証明、課税証明、所得証明書、非課税証明書となっています。
- ・桜川市はまだ行っていませんので、今後の検討課題です。
- ・コンビニ交付に必要なマイナンバーカードの普及率はまだ低いという事だが、今後普及率が高まると、検討しなければならないが、今の段階では、コンビニ交付と同様な機能を支所に置くということで、矛盾しないと思いますので、今後検討していただく。

【公共施設に関すること】

○桜川市は、公民館機能とかそういうものを集約化する計画とか、公共施設のマネジメント計画とかあるのか。

- ・現時点では、集約化しようとか、再編しようとか話し合いが動いているものはありません。どうやって長寿命かしようとかとのところですよ。

(2) 新庁舎について

○事務局から示された資料3の機能ですね、これについて、こういうのではなくて、こういう機能だろうとか、あるいは、こんな機能、こういう風にした方が良くないだろうかといったご意見を、これは、支所ではなくて新しく作る話ですので、夢のある話であります。

○例えば、坂東市の場合は、ランドマークとありますが、都市計画、法律上できるのですか。何階までとかあるのですか。ここは高さとか制限はないですか。

- ・場所によってだと思います。例えばこの辺は、市街化区域ですからそれなりに自由度は、何十階という事はないですが、4階位は可能かだと思います。

○上に伸ばすのは、費用が高いの。安い。

- ・一般的に高層にするほど、床面積に対する単価は上がります。もちろん、平屋が造りとしては簡単といっちは変ですが。
- ・プロポーザルとなつては高くつくからやらないで、なるべく安い設計で。

○デザインって、プロポーザルにするとデザイン性の方にどうしても行ってしまうけれど、シンボル性をどう捉えるか、新庁舎をただの事務所というのかどうか。

- ・やはりこれから先、ランニングコストやメンテナンスの少ないのが良い。
- ・カッコイイの建物は、どうも後のメンテナンスが色々とかかるのでないかと思う。
- ・ほんとに、ああ事務所だと、事務ができればいいという事でやっていただけたらと思う。
- ・かかる経費を少なくということ。
- ・必要な機能は持たせるけど、デザインにはこだわらない。

○桜川市には何か、シンボルタワー的なものはありますか。そこに行けばみんなが自慢できる建物があるとかありますか。そういう、自慢できる建物にしたいという気持ちはありませんか。

- ・予算ありきだから、あまりお金をかけなくて、職員の皆さんは居心地が悪くても市民が行ってきやすいところという形。お金かけない方が良く思う。
- ・市民が使いやすいということ。
- ・長靴でも入っていけるようなところ。
- ・普段着で入っていけるとこ。
- ・普段着で入っていける市役所。市民が使いやすい市役所。
- ・エレベータは、自分たちの事ではなくて、やはり障害者のこととかを考えて、当然必要になる。
- ・市民が使いやすいという事の中には、エレベータとか障害者に配慮したとかは入ると思う。

○本庁と支所との関係で、支所の窓口というものを、本庁にも窓口としてもおくのか。それとも、よく市役所には、市民課があつて、税務課があつて、福祉課があつてと並んでいて、来た人は、ポンポンポンと順に回って、課を渡り歩くのがいいのか、それとも、支所のように奥の税務課まで行かなくても、市民の人は入り口の窓口で必要な証明はとれるようにしてしまうのか、1階にバラバラバラと配置するのか、どちらの方が使いやすいと思うか。

- ・自分だったら、奥の税務課まで行かなくて、証明なんかは入り口だけで、くつろいで待っていて取れてもいいのかなと思う。
- ・普通、市民が欲しいという書類は、オンラインでできる感じが多いです。そうすると、住

民票、印鑑証明が欲しいですよといった申請用紙を区別して置いておいて、それに欲しいもの書いて窓口に出せば、それがそのひと区画、総合窓口で出てくるのであれば、あくまでも凝縮できるわけで、ただもっと濃い相談とかある場合にはその部署に行くという事で、最初にその窓口で可能であれば、その窓口はあってもいいのかなと思う。

○逆にいうと、本庁舎で窓口課を置かなくても成り立つという事はあるのか。

・各課を渡り歩いてもらえば、受付のところに窓口を集中することもない。

○総合窓口とした場合、職員の配置はどうなるのか。

・それはやりようで、例えば、どの課でも一番窓口に近い職員がやるわけだから、その時は、そちらに行ってやるとか、それぞれの窓口に近い職員が窓口を担当することが多いから、その職員が一緒のところと並んでいるとかですか。

○10年、20年先の事はわからないと思うが、職員数はどうなるのか。

・職員は徐々に減らしては行くのですが、今職員の人事管理は、庁舎が本庁舎に1本になった状態で人数で管理しているのですが、実情は、岩瀬にも、真壁にも、大和にも、それぞれ機能をもった庁舎になっているので、1本にした場合はこんなには要らないだろう。しかし、いまの現状ではこれだけほしいということで、若干はいくらか多いです。でも、人事の適正管理でいうと多いといっても、2、3人くらいです。

○庁舎は作ると、40年、50年と使うものですよね、我々が思う部分より、本当に議論するのは今の子供たちです。ですから、我々が良いとかどうかより、彼らが使う庁舎がどういう形なのかという、うちのじいちゃんがあんななもの造ったといわれなような形のものも考えて行くことも必要。

・今のご意見は大事だ。前に、第2次総合計画策定時に市民を交えた意見交換を行ったけれど、そこまでは意見はとれない庁舎のイメージは取れていない。

○市民の皆さんにくつろいでもらうスペースとか、役所によっては、市民の皆さんの展示スペースなどの、そういうものも、簡単にいうと自由スペースかな、市民広場みたいな、ここまでどうか。

・隣に公民館があるのだから（いらない）。

・そうだよ。

○桜川市は今、観光案内拠点とかがないのですが、そういうような、土日に桜川市へ来た人がちょっと寄るような、情報提供するようなどころが必要かどうか。

・笠間市の場合は、岩間の地域交流センターに土日、愛宕山に登ってもらうため、ジオパークと連携してそういう機能を市役所に考えているみたいです。

○この間、北朝鮮でミサイルが発射されて近くの頑丈な建物に逃げてくださいという放送がありました。その時逃げ込めるような3階建てぐらいの頑丈な建物を造ってもらえるといいと思う。

- ・防災時の拠点とか、災害時の拠点とかの機能ですか。市民を囲まるとかのイメージがあるのですか。
- ・シェルターの事までは考えていません。いわゆる災害対策の本部機能という事ぐらいです
- ・是非とも、3階ぐらいの頑丈な建物を造ってもらって。

○いまのを他の市のコンセプトとかでいうと、今のご意見を集約すると、

- ・まず、市民が使いやすい。普段着でとか、エレベータとかは、来庁者が、市民が使いやすいということもあります。
- ・あと、窓口が総合的な窓口、ワンストップサービスの総合窓口的なサービスがいいのか、いろいろな部署に行くのがいいのか、今決めなくてもいいのですがありました。
- ・どうも、他の市にあるような、サービス、ランドマーク的なものは要らないようです。
- ・皆さんの意見としてですが、ですから、実務的な、市民が使いやすい。

○ここで終わりなのでコンセプトを、どんなものを求めるかという事を、一人ひとり簡単にいいのと言ってもらえますか。

- ・やはり、役所っていうのは、一般の人が入りにくいので、敷居が高い。だから、一般の人が入りやすい、そういう雰囲気がある建物にしてもらいたい。
- ・先ほど意見がありました、障害者に対する配慮、エレベータとか危険な場所の手すり、そういうのも考えていく必要もあるのではないかな。
- ・先を見るという事では、何十年かの先では、オンラインでパソコンからできることが多くなっていくのかなと。人が入ってくるのでは福祉関係のところになるのかなと思えますので、やはり、そういったところにやさしい。車いすでもどんどん入っていけるのか、そういう形を造ってもらえれば。
- ・形としては、複雑でないもの。シンプルなもの。
- ・市民と壁を造らないような住民サービスに答えていただけるような雰囲気あるもの。
- ・シンプルで住民サービスが図れるもの。
- ・あまり、高さが高くないもの、3階建てぐらいのもの。
- ・桜川市には自然環境で売り出すというところがあるから、自然の中に庁舎があるような。エネルギーとかもある。自然にマッチした、あまり建物ばかり目立つようではなく。
- ・周辺環境と景観にマッチした庁舎。
- ・とにかく、使いやすい、入りやすい、シンプルイズベストだと思う。
- ・20年以上、30年先を踏まえて、これからの人たちに、ああこれいいものを造ってくれ

たなというようなもの。

- ・これから子供たちが成人してずっと使っていく建物ものなので、シンプルの中にも楽しめるような、普段着で誰でもオープンでワイワイと来るとするのは楽しいと思うので、そういう部分の要素、楽しめるもの。普段着で使いやすい。
- ・普段着で気軽に長靴でも入れるような建物にしてもらいたい。
- ・消防をやっていますが、アメダス、雨量計ですね、これを市内に設置いたしました。この間の台風 21 号ですか、その時は雨量の情報を得られました。この状況を見られるような機能を付けてもらって 1 か所で見られる防災施設にしたらと思います。
- ・気象情報とか防災情報とか効率的な設置ですね。
- ・建物的に、これで 30 億かよと思われたい。えっ、これで 30 億でできているの！と思われるような、デザイン、機能を備えた建物を。
- ・安かろう悪かろうではなくて、良かろう高かろうでもなくて、金額にあった値段と機能も備えたもの。
- ・役所という固いイメージがあるので、市民が気軽に入れるような、ちょっとコーヒーが飲めるような喫茶があるような建物が良いのかと思います。
- ・喫茶コーナーがある庁舎。
- ・市民に配慮した構造。使いやすい。
- ・そして、材木を使ったものはどうですかね、温かみというところで。
- ・基本的には、市民サービスを重点的においた、先ほどエレベータの話がでしたが、エスカレーターもどうかと思います。
- ・頑丈な建物。
- ・先ほど安く見えないものとの話がありましたが、是非要望したいのは、桜川市の御影石、これを外壁に使って頂きたい。周り石にすると、見た目すごく高く見えます。
- ・メンテナンスがかからないもの。よく鉄筋というのは長持ちするかと思えばそうでもない。例えば屋上とか防水加工すると、何年かに一度防水加工しなければならない。
- ・使いやすいというのが一番です。

○皆さんから出されたものを、事務局とでまとめたものを次回冒頭で、こんなコンセプトで協議したいと思います

- ・皆さんは、ランドマークとかきらびやかとかではなくて、シンプルで、市民が入りやすい。また、値段に見劣りしてはダメだと。実務的な、市民が使いやすいもの。
- ・市民が使いやすい。普段着でとか、エレベータとかは、来庁者が、市民が使いやすい。
- ・窓口が総合的な窓口、ワンストップサービスの総合窓口的なサービスがいいのか、いろいろな部署に行くのがいいのか、今決めなくてもいいのですがありました。
- ・どうも、他の市にあるような、サービス、ランドマーク的なものは要らないようです。

○視察という意見がありましたが、どうしますか。

- ・ある程度規模が同じぐらいのところで。
- ・近いといったところでは、人口規模とか類似しているのは、稲敷市です。坂東市はちょっと建物が良すぎます
- ・稲敷に行くときに、その建物の欠点とか使い悪さとか聞いた方が良い。
- ・稲敷市で行く方向で、事務局で検討してください。

5 そ の 他

6 閉 会 16 : 24 閉会